



河内長野市議団と電動カート乗車

河内長野市議団と電動カートを活用した街づくりを視察

大阪府の日本共産党河内長野市議団（宮本さとし・にわか実・中川まなぶ・だばなか大介・原れきし）5名が、社会福祉法人「みずうみ」が運行主体となり、小さな生活拠点と核とした地域共助型モビリティ実証事業の視察に来松との連絡があり、5月29日、松江市議団も共に視察しました。

3班に分かれて、7人乗りのヤマハ製ゴルフカートに時速19キロで比津が丘団地を回りました。利用希望者は、予約なしで基地局に電話し基地局は車両が何処を走っているのか確認、送迎時間を希望者に通知し、走行中の運転手にも指示するシステムも視察しました。その後、岩本雅之理事長

「引き続き、野党と市民の共闘を」 みんなでつくる島根の会第2回総会開催

政治団体「みんなでつくる島根の会」の第二回総会が6月8日（土）開催され、4月に行われた島根県知事選挙の総括と、今後の活動方針が話し合われました。

「みんなでつくる島根の会」から無所属で立候補した山崎泰子氏は、「脱原発、住民自治」の政策をかかげ健闘しましたが当選には至りませんでした。

総会では、松尾壽代表と、候補者でもあった山崎泰子副代表がお礼と感謝のあいさつをおこない、村上一副代表が「二〇一九年島根知事選総括案」を提案しました。

今回のたたかいは、自民

党が三分裂し、政策抜きの知事選挙になりそうであった情勢に一石を投じ、市民と野党の共闘を前進させる足がかりとなる取り組みであったこと。

三人の呼びかけ人による懇談会が、昨年12月9日から県下各地で投票日まで17か所で開催され、延べ281人が参加したこと。

選挙戦は、ポスター貼り、証紙はり、候補者カー・会の車の運行、SNSでの拡散など、候補者を先頭に家族、団体、各地の支持者による、文字どおり「みんなで作る」選挙戦となったこと。

一貫して追求してきたの

（市議会議員）が、経過・現状・今後の取り組みについて報告。実証事業は、昨年の9月2日から12月16日の間に、うぐいす台、法吉団地、比津が丘団地での運行や、松江城や地域の祭り等の運行を行い、2558人が利用。高齢者の移動手段として寄与でき、バス利用の促進にもなることから「みずうみ」として車両を購入し、事業化に向けて準備しているとのことでした。

憲法9条守れ、原発やめよ しまね労連など、松江市へ申し入れ

5月30日、しまね労連と自治労連、建交労合同の

自治体キャラバン要請行動が松江市役所で行われました。

しまね労連からは、「憲法9条の改憲をしないよう政府に求めること」「島根原発の稼働に反対すること」「島根県の最低賃金を直ちに1000円引き上げること」を要請しました。

自治労連は「会計年度任用職員制度」「公契約条例」について、建交労は「生活困窮者自立支援制度」「トネルじん肺・アスベスト被害」について要請しました。

憲法9条について、災害救助や専守防衛の自衛隊は国民多数が認めているが、海外で戦争をするような自衛隊になってほしくないなど申し入れました。松江市としては、自衛隊の広報には協力しているとのことでした。

原発再稼働については、「市民の安全が第一である」との市当局の発言があり、重たい言葉として要請団は受け止めました。

この要請行動に、橋祥朗、吉儀敬子、田中肇の共産党市議団が参加しました。



島根労連などが松江市へ申し入れ

日本共産党演説会

弁士 和夫・党委員長 志位 仁・参院議員 比総平・参院議員 中林よしこ・元衆院議員
（参院選鳥取・島根選挙区候補）

日時：6月23日（日）午前10時より
場所：松江テルサホール
連絡先：日本共産党島根県委員会 0852-24-2444